

子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（抜粋）

I 調査の概要

1 調査の目的

平成18年3月に策定した「子ども読書活動推進計画」による施策の成果を検証し、また子どもの読書活動の現状及び課題等を把握し、「第2次子ども読書活動推進計画」の策定に資するため、アンケート調査を実施したものである。

2 調査対象者及び提出状況

(1) 調査対象者

市立小学校14校の小学校5年生1クラスの児童と保護者
市立中学校7校の中学校2年生1クラスの生徒と保護者
高等学校1校の1年生1クラスの生徒
市立幼稚園3園の保護者及び私立幼稚園1園の保護者
市立保育園6園の保護者及び私立保育園1園の保護者

(2) 提出状況

区 分	調査対象人数	提出者数	回収率
小学生	401人	398人	99.3%
中学生	236人	236人	100.0%
高校生	41人	41人	100.0%
小学生保護者	401人	380人	94.8%
中学生保護者	226人	187人	82.7%
幼稚園児保護者	113人	101人	89.4%
保育園児保護者	127人	102人	80.3%
合 計	1,545人	1,445人	93.5%

3 実施期間

(1) 調査票の配布 平成23年7月 8日

(2) 調査票の回収 平成23年7月27日

II 回答者のプロフィール

1 回答者の属性

内 訳	男	割合	女	割合	不明	計
小学生	189人	47.5%	207人	52.0%	2人	398人
中学生	120人	50.8%	115人	48.7%	1人	236人
高校生	17人	41.5%	24人	58.5%		41人
小学生の保護者	30人	7.9%	349人	91.8%	1人	380人
中学生の保護者	12人	6.4%	175人	93.6%		187人
幼稚園児の保護者	1人	1.0%	100人	99.0%		101人
保育園児の保護者	7人	6.9%	95人	93.1%		102人
合 計	376人	26.0%	1,065人	73.7%	4人	1,445人

2 保護者の年齢

内 訳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	計
小学生の保護者	7人	168人	194人	7人	3人	1人	380人
その割合	1.8%	44.2%	51.1%	1.8%	0.8%	0.3%	100%
中学生の保護者	0人	43人	127人	16人	1人		187人
その割合	0.0%	23.0%	67.9%	8.6%	0.5%		100%
幼稚園児の保護者	18人	62人	19人	2人	0人		101人
その割合	17.8%	61.4%	18.8%	2.0%	0.0%		100%
保育園児の保護者	16人	73人	11人	2人	0人		102人
その割合	15.7%	71.6%	10.8%	2.0%	0.0%		100%
計	41人	346人	351人	27人	4人	1人	770人
その割合	5.3%	45.0%	45.6%	3.5%	0.5%	0.1%	100%

Ⅲ 調査結果の要約

1 読書の感じ方や読書量などについて

読書の好き嫌いについて

読書が「好き」、「どちらかといえば好き」の回答を合わせた『読書好き』については、小学生で約84%、中学生で約83%、高校生で68%の回答があり、多くの子どもたちが読書は好きと答えている。また、その割合は小学生に比べて高校生は16ポイント低い。

前回調査結果と比較した場合、小学生は前回と同じ割合であったが、中学生において前回の約72%であったのに対して、今回は約83%で、11ポイント上昇している。

保護者の調査において、小学生の保護者で約75%、中学生の保護者でも約76%と7割以上が、読書は好きと答えている。

読書することは大切だと思いますかについて

読書の大切さの認識状況については、「思う」が小学生で96%、中学生が約93%、高校生が約98%、保育園児、幼稚園児、小・中学生の保護者にあっては約97%以上が認識していて、小学生、中学生及び同保護者において、前回調査より上昇している。

参考（前回調査結果）「思う」、「少し思う」合わせた割合では、小学生93%、中学生89%

子どもがもっと本を読むようになってほしいですか

保育園児、幼稚園児、小・中学生の保護者の回答結果は、ほとんどの方（約99%以上）が「子どもにはもっと本を読むようになってもらいたい」と思っている。

読書時間について

1日あたりの読書時間については、小学生では「30分まで」が約39%と最も多く、「1時間まで」が約17%、合わせると約56%が「1時間以内」の読書となっている。また、「ほとんど読まない」も約26%ある。中学生では、「30分まで」が約34%と最も多く、次いで「ほとんど読まない」が約30%、「1時間まで」が約22%である。高校生では、「ほとんど読まない」が約54%と最も多く、次いで「30分まで」が約27%である。保育園児、幼稚園児、小・中学生の保護者においては、それぞれで「ほとんど読まない」が最も高く、次いで「30分まで」となっている。

前回結果と比較した場合、小学生、中学生ともに1時間以上読書する子どもが増加していることがわかる。

参 考
 <調査比較表>

	小学生		中学生		高校生
	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年	平成23年
読まない	26%	27%	30%	43%	54%
30分まで	39%	44%	34%	37%	27%
1時間まで	17%	17%	22%	12%	7%
1時間以上	18%	12%	14%	8%	12%

読書量について

1ヶ月あたり何冊の本を読むかについては、小学生においては「6冊以上」が約48%と最も多く、次いで「2～3冊」が約22%である。中学生では、「2～3冊」が約30%と最も多く、「1冊」が約26%である。高校生では、「1冊」が約32%と最も多く、「2～3冊」が約24%である。「0冊」は小学生では約2%に対し中学生が約9%、高校生では約32%と年齢が上昇するとともに増加している。

また、「6冊以上」の読書量で見ると小学生が約48%で、中学生が約18%、高校生が約7%と年齢とともに大幅に減少している。

また、保護者においては、「ほとんど読まない」と回答した保育園児の保護者が約50%であるのに対し、子どもの年齢の上昇に反比例して下がり、中学生の保護者においては約32%である。

参 考
 <調査比較表>

	小学生		中学生		高校生
	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年	平成23年
0 冊	2%	5%	9%	17%	32%
1 冊	9%	13%	26%	40%	32%
2～3 冊	22%	35%	30%	28%	24%
4～5 冊	19%	24%	17%	7%	5%
6冊以上	48%	23%	18%	8%	7%

本を読まない理由について

本を読まない理由は、「読みたいと思うが読めない」が小学生では約49%、中学生では約51%、高校生では約50%である。

保育園児、幼稚園児、小学生の保護者では約79%以上、中学生の保護者では約77%と多くの方が「読みたいと思うが読めない」という状況である。

本を読めない理由について

本を読めない理由については、小学生、中学生ともに勉強や習い事等で忙しいようで、小学生では約35%、中学生では約54%、高校生では約64%である。中学生は、小学生よりその割合が19ポイント多い。

また、「読みたい本がない」が小学生では約35%、中学生では約22%である。

参 考<前回調査結果> 小学生 38%、 中学生 28%

保護者においては、「時間がない」が保育園児の保護者で約94%、幼稚園児の保護者で約77%、小学生の保護者で約87%、中学生の保護者で約85%と他の理由より圧倒的に高く、生活や家事等で多忙のために読めない理由となっているようである。

参 考<前回調査結果> 小学生 82%、 中学生 79%

本を読みたくない理由について

読みたくない理由の上位3件について、小学生では「友だちと遊びたい」が約18%、「ゲームをしたりテレビ、パソコンを見たい」が約18%、「読みたいと思う本がない」が18%である。中学生では「マンガや雑誌を読みたい」が約16%、「ゲームをしたりテレビ、パソコンを見たい」が約18%、「読みたいと思う本がない」が約18%である。

前回の調査結果を比較した場合、「ゲームをしたり、テレビ、パソコンを見たい」とする小学生、中学生が増えている。

参 考
<調査比較表>

	小学生		中学生	
	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年
友だちと遊びたい	18%	21%	13%	16%
マンガや雑誌を読みたい	12%	15%	16%	21%
ゲームをしたり、テレビ、パソコンを見たい	18%	13%	18%	14%
読みたいと思う本がない	18%	13%	18%	17%

本の選び方について

小学生約49%、中学生約38%とも「自分で本を見て選ぶ」が最も多く、次いで「人気がある本」や「友達のすすめ」が多い。「先生や学校、図書館が薦める本は」は利用が少ないようである。高校生においては「書店で選んで買う」が約37%と高い割合である。

本の入手方法について

「買う、又は買ってもらう」が小学生約31%、中学生約41%、高校生約56%とも最も多く、次いで「学校図書室で借りる」が多い。なお、高校生では「市立図書館で借りる」が約22%で2番目である。

また、小学生や中学生においても「市立図書館で借りる」が小学生で約16%、中学生で約12%がいた。

2 家庭での読書の状況について

本を話題にして話をしたことがありますか？

「よくある」、「ときどきある」の回答を合わせた「家庭で本を話題に話す」割合は、小学生で約58%、中学生で約50%である。一方、保護者の回答では、小学生の保護者は約70%、中学生の保護者が約69%と子どもの回答とでは差があるが、半数以上の家庭で本を話題に話をしている。

読み聞かせについて

子どもに対する読み聞かせの状況については、「ほぼ毎日している」、「時々している」を合わせた幼稚園児と保育園児の保護者の調査では、約84%の家庭で行っている。

また、小学生と中学生の保護者が読み聞かせをした経験について「よくあった」、「時々あった」の合わせた調査結果では、小学生の保護者が約92%、中学生の保護者が約94%の回答があった。多くの家庭で小学校入学又は低学年の年齢までの間、読み聞かせが行われていたようであり、前回調査結果より上昇していた。

3 学校での読書の状況について

学級文庫の利用について

学級文庫の利用について「あまり利用しない」が、小学生で約63%、中学生で約67%と半数以上が利用していない。

学校図書室の利用について

学校図書室から1カ月に借りる本の冊数は、小学生で「4冊以上」が約50%と最も多く、次いで「2～3冊」が約27%である。中学生では「0冊」が約49%と最も多く、次いで「1冊」が約21%である。前回調査結果より利用が多くなっている状況がみられる。

また、高校生では、「0冊」が約78%で、次いで「1冊」が約10%で、利用があまりない状況である。

参 考
＜調査比較表＞

	小学生		中学生	
	平成23年	平成17年	平成23年	平成17年
0 冊	8%	21%	49%	62%
1 冊	15%	23%	21%	16%
2～3 冊	27%	28%	15%	14%
4冊以上	50%	28%	15%	8%

学校図書室に望むことは？

学校の図書室に望むことでは、小学生、中学生、高校生とも「面白い本を教えてほしい」、「自分の好きな本を置いてほしい」の2点が上位にあり、更に、小中学生においては「本を検索できるパソコンが欲しい」の要望も上位を占めている。

全校一斉読書について

全校一斉読書の回数は、「ちょうどよい」が小学生で約68%、中学生が約49%で最も多い。また、「少ない」と感じているのは、小学生で約25%、中学生で約20%の子どもがいる。

時間でも「ちょうどよい」が小学生で約49%、中学生が約39%で、「短い」と感じている子どもが小学生で約44%、中学生が約52%いる。

4 市立図書館について

市立図書館の利用について

1ヶ月の市立図書館利用回数は、「0回」が小学生で約43%、中学生で約71%、高校生で約93%と最も多く、次いで「1回～2回」が小学生で約42%、中学生が約25%、高校生で約7%と低調な利用頻度となっている。

参 考<前回調査結果> 図書館利用0回は小学生40%、中学生65%

市立図書館に望むこと

市立図書館に望むことの上位三位は、次のとおりである。

	小学生	中学生	高校生
自分の好きな本を置いてほしい。	約22%	約31%	約18%
面白い本を教えてほしい	約18%	約20%	約29%
歩いたり自転車でいける図書館がほしい。	約18%	約17%	約20%

どうすればもっと本を読むようになるか

幼稚園児・保育園児の保護者の上位三位は、次のとおりである。

	幼稚園児保護者	保育園児保護者
図書館と一緒に行く	約25%	約20%
本を読み聞かせする	約31%	約36%
大人が本を読む	約18%	約18%

小学生・中学校生の保護者の上位三位は、次のとおりである。

	小学生保護者	中学生保護者
図書館と一緒に行く	約20%	約15%
本を話題にして子どもと話す	約19%	約20%
大人が本を読む	約16%	約16%

5 その他

子ども読書の日(4月23日)について

最後に「子どもの読書活動の推進に関する法律」に規定した「子ども読書の日」の認知の程度を調査したところ、保育園児、幼稚園児、小学生の保護者の約90%以上の方が知らなかったと答えている。

参 考<前回調査結果> 小学生・中学生の保護者 約90%